

三年組 番 名前 ()

漢字を書きましよう。

おきる

① 六時に **起きる**。

ようす

⑧ けがの **様子**。

はやさ

② ロケットの **速さ**。

ものがたり

⑨ 長い **物語**。

いちめん

③ **一面**の雪げしき。

どうわ

⑩ アンデルセン **童話**。

いき

④ **息**をひそめる。

はっけん

⑪ **発見**したかせき。

むこう

⑤ **向こう**へわたる。

おもて

⑫ **表**げんかんに行く。

みどりいろ

⑥ **緑色**のぼうし。

かいじょう

⑬ **会場**にあつまる。

かんしん

⑦ **感心**するたいど。

つかう

⑭ ものさしを **使う**。

*二つの文をつなぐことば(つなぎことば)を □ からえらんで () の中に 書きましよう。

◎ 後の文のことが、前の文の反対・ぎゃくのこととなるもの

二文 ぼくは、しっかりと勉強した。(しかし) 点数がわるかった。

一文 ぼくは、しっかりと勉強した(のに) 点数がわるかった。

そして しかし だから のに

三年組 番 名前 (

漢字を書きましよう。

① 毎日 運動 する。
まいにち うんどう

② 水が 落ちる。
おちる

③ 洋ふくを 整理 する。
せいり

④ 意味 をたずねる。
いみ

⑤ 次 は、ぼくの番だ。
つぎ

⑥ 医者 になる。
いしゃ

⑦ 理由 を 話す。
りゆう はなす

⑧ うまに 乗る のる
せきゆ

⑨ 石油 が出る。
おくじよう

⑩ ビルの 屋上 。

⑪ 道路 工事 。

⑫ 病院 へ行く。
びよういん

⑬ 鉄 ぼうであそぶ。
てつ

⑭ ゆうびん 局 へ行く。
きよく

*二つの文をつなぐことば(つなぎことば)を □ からえらんで () の中に 書きましよう。

◎前の文のことと、後の文が合う・よそう通りのもの

二文 わたしは、がんばって泳いだ。(だから) 五十メートル泳げた。

一文 わたしは、がんばって泳いだ(ので) 五十メートル泳げた。

ので しかし ところが だから のに

三年組 番 名前 ()

漢字を書きましよう。

① 交通 安全
こうつう あんぜん

② 昭和 五十七年
しょうわ 五十七年

③ 旅館 にとまる。
りよかん

④ お客 さんが 来る。
きやく

⑤ かた手で 持つ。
もつ

⑥ 階 だんを 上がる。
かい

⑦ 重い にもつ。
おもい

⑧ 去年 の 作品。
きよねん さくひん

⑨ はたけ 仕事 をする。
しごと

⑩ 両足 をそろえて立つ。
りょうあし

⑪ 軽い 足どり。
かるい あしどり

⑫ 九州 のしんせき。
きゅうしゅう

⑬ しつ 問 に 答える。
もん こたえる

⑭ きげんが 悪い。
わるい

*二つの文をつなぐことば(つなぎことば)を □ からえらんで () の中に 書きましよう。

◎後の文が、前の文を説明しているもの

二文 ぼくは、 工作をした。(なぜなら) 夏休みの宿題だったからだ。

一文 ぼくが 工作をした(のは)、 夏休みの宿題だったから。

そして しかし なぜなら でも のは